

全日本護身武道連盟新聞

信頼関係は自分から信じる事から始まる

第59号
平成27年10月1日

NPO法人
全日本護身武道連盟
事務局発行責任

道場だより

館長

※4級審査

9月28日合格 林晃一殿

平成二十七年八月二十三日(日)	特別合同練習会
平成二十七年十一月二十二日(日)	研修会・理事会
平成二十八年一月二十日(日)	護身武道演武会
平成二十八年三月二十日(日)	研修会・理事会
平成二十七年四月三十日(月)	第四十九回理事会
平成二十七年八月二十三日(日)	平成二十七年度 第二・四半期
平成二十七年九月三十日(月)	第五十五回指導者研修会
平成二十七年十月三十日(月)	平成二十七年度 第二・四半期
平成二十七年十一月三十日(月)	平成二十七年度 第二・四半期
平成二十七年十二月三十日(月)	平成二十七年度 第二・四半期

平成二十七年度 第二・四半期	NPO法人全日本護身武道連盟 事務局
審議事項	一合同練習会・合同研修会実施 確認の件
三支部開設・宣伝活動、その他	二他武道参戦・護身武道演武大会 実施要項確認の件
四その他	三確認事項
合 同 練 習 会	四夏期合宿代替

平成二十七年八月二十三日(日)	9時30分~12時00分
場所	台東区東上野6-16-8
審議事項	社会教育館センター コミュニエティー室
三支部開設・宣伝活動、その他	一合同練習会・合同研修会実施 確認の件
四その他	二他武道参戦・護身武道演武大会 実施要項確認の件
合 同 練 習 会	三確認事項

護身武道研修センター

(身体技術の向上・訓練・確認機関)

平成二十七年八月二十三日(月)



研修内容

・昇段審査・出席有段者科目練習

・護身武道・気合せ解説・実践

・第十五回指導者研修会

・第五十五回指導者研修会

・第五十六回指導者研修会

・第五十七回指導者研修会

・第五十八回指導者研修会

・第五十九回指導者研修会

・第六十回指導者研修会

・第六十一回指導者研修会

・第六十二回指導者研修会

・第六十三回指導者研修会

・第六十四回指導者研修会

・第六十五回指導者研修会

・第六十六回指導者研修会

・第六十七回指導者研修会

・第六十八回指導者研修会

・第六十九回指導者研修会

・第七十回指導者研修会

・第七十一回指導者研修会

・第七十二回指導者研修会

・第七十三回指導者研修会

・第七十四回指導者研修会

・第七十五回指導者研修会

・第七十六回指導者研修会

・第七十七回指導者研修会

・第七十八回指導者研修会

・第七十九回指導者研修会

・第八十回指導者研修会

・第八十一回指導者研修会

・第八十二回指導者研修会

・第八十三回指導者研修会

・第八十四回指導者研修会

・第八十五回指導者研修会

・第八十六回指導者研修会

・第八十七回指導者研修会

・第八十八回指導者研修会

・第八十九回指導者研修会

・第九十回指導者研修会

・第九十一回指導者研修会

・第九十二回指導者研修会

・第九十三回指導者研修会

・第九十四回指導者研修会

・第九十五回指導者研修会

・第九十六回指導者研修会

・第九十七回指導者研修会

・第九十八回指導者研修会

・第九十九回指導者研修会

・第一百回指導者研修会

・第一百一回指導者研修会

・第一百二回指導者研修会

・第一百三回指導者研修会

・第一百四回指導者研修会

・第一百五回指導者研修会

・第一百六回指導者研修会

・第一百七回指導者研修会

・第一百八回指導者研修会

・第一百九回指導者研修会

・第一百十回指導者研修会

・第一百十五回指導者研修会

・第一百二十回指導者研修会

・第一百三十回指導者研修会

・第一百四十回指導者研修会

・第一百五十回指導者研修会

・第一百六十回指導者研修会

・第一百七十回指導者研修会

・第一百八十回指導者研修会

・第一百九十回指導者研修会

・第一百二十五回指導者研修会

・第一百三十五回指導者研修会

・第一百四十五回指導者研修会

・第一百五十五回指導者研修会

・第一百六十五回指導者研修会

・第一百七十五回指導者研修会

・第一百八十五回指導者研修会

・第一百九五回指導者研修会

・第一百二十五回指導者研修会



【初段になつて】 成田
「この半年間昇段を目指してやつてきていたので、一息ついたと言うのが偽らざる気持ち。但しまだまた技(所作)の理解・キレが未熟であり、引き続き鍛練して参りたい。その際、人に教えることができるレベルを意識して行う所存。」
【審査について】
「審査項目(実技)については、もっと事前(半年位前に)受験予定者に配布すべきだと思う。今回受験については、簡単護身が廃止になつていることを審査直前まで師範共々知らず。実技項目についても定期的に見直すべきだと思う。ほとんど同じ所作でなければ違います。」

